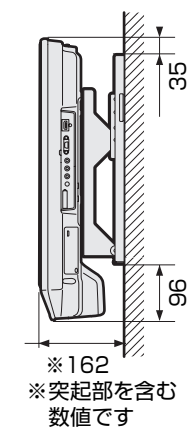
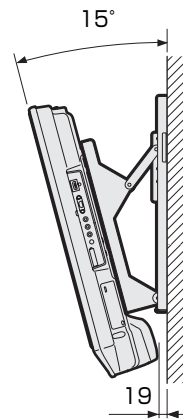
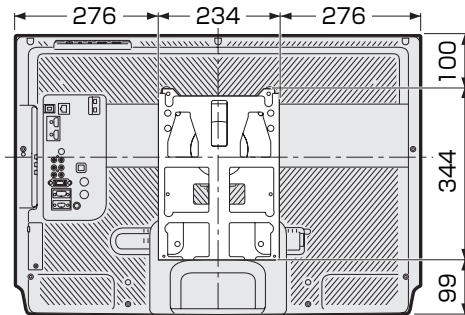
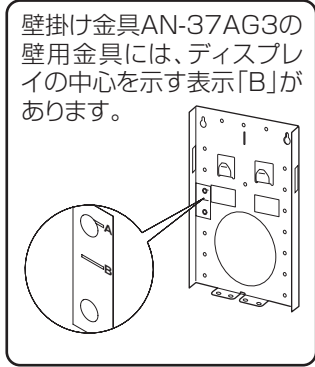
（単位：mm）

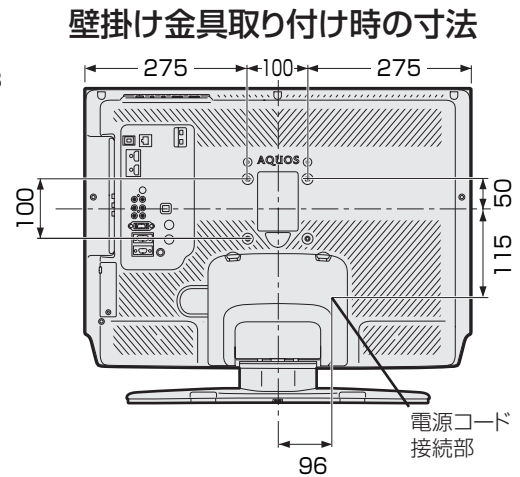
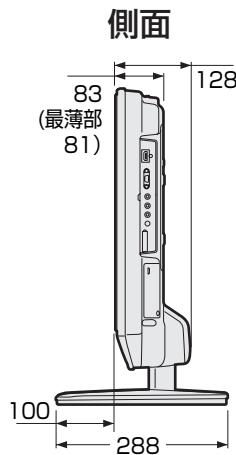
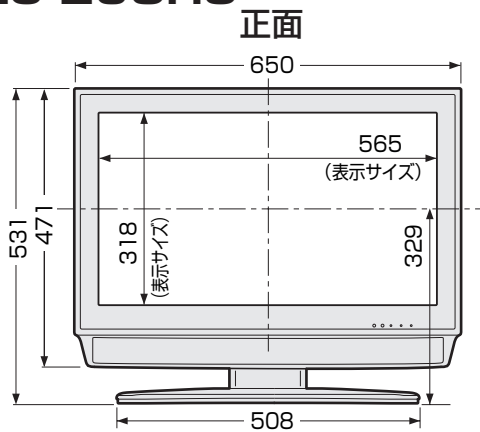
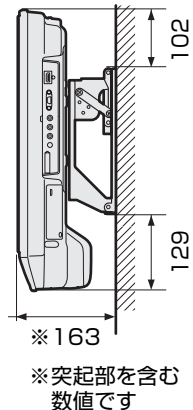
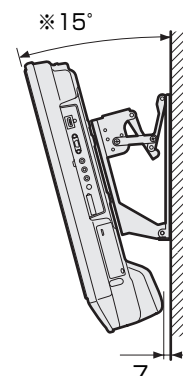
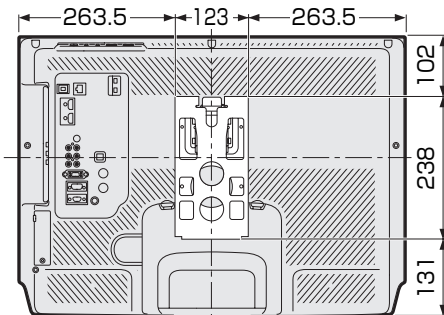
LC-32GH5

壁掛け金具AN-37AG3使用時

壁掛け金具AN-37AG3の壁用金具には、ディスプレイの中心を示す表示「B」があります。

※突起部を含む数値です

LC-26GH5

壁掛け金具AN-130AG1使用時

壁掛け金具AN-130AG1の壁用金具には、ディスプレイの中心を示す表示「D」があります。

※スタンドカバーを取りはずすと20°まで傾けることができます

※突起部を含む数値です

スタンドをはずす

- 別売の壁掛け金具（AN-37AG3/AN-130AG1）で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。（壁掛け設置のしかた（例）▶ **171** ページ）

重要

- 取付け方法など詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。
  当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

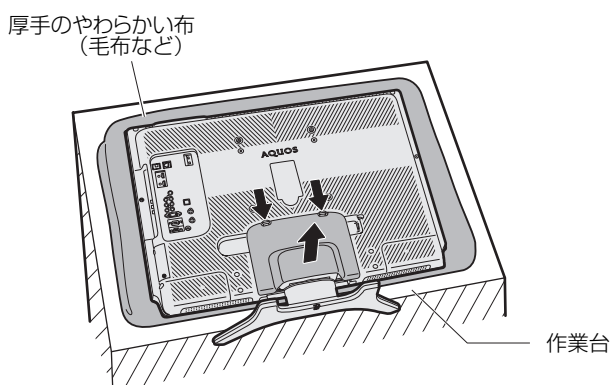
- 接続されているケーブル類は接続先をすべて取りはずしてください。
- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- 必ず 2 人以上で作業してください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

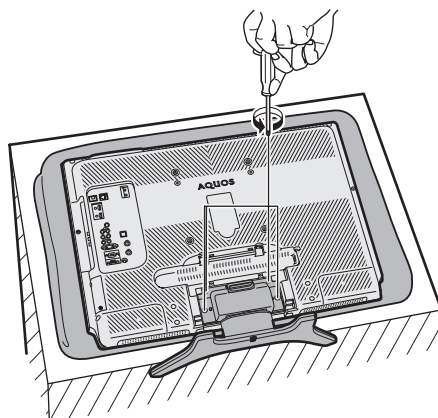
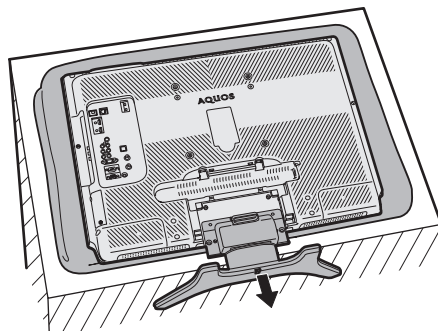
壁に掛ける前の準備

- 本機に接続するケーブルやコードは、確実に取り付けてください。
- 電源プラグはコンセントから抜いておいてください。また、録画機器などと接続するためのケーブルは、録画機器側をはずしておいてください。
  これらのコードやケーブルは、壁に掛けたあとにつなぎます。

1 テーブルなどの台を用意し、毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上に画面を下向きにして本機を置く

2 スタンドカバーを取りはずす

- 2カ所のツメを押さえてはずします。

3 スタンドのジョイントアングル部のネジ（4 箇所）を取りはずす

- ⊕（プラス）ドライバーを使います。

4 スタンドを手前に引いて取りはずす

- 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置します。

壁掛け設置のしかた（例）

・くわしくは、壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。

● 本機を別売の壁掛け金具（AN-37AG3/AN-130AG1）を使って壁掛け設置して使用することができます。その場合は、必ず付属のスタンドをはずしてください。（スタンドのはずしかた ▶ **170** ページ）

おしらせ

- 壁掛け金具 AN-37AG3 を取り付ける場合は、AN-37AG3 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-130AG1 を取り付ける場合は、AN-130AG1 に付属のテレビ取付用ねじ（M4、長さ 10mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-37AG3、AN-130AG1 の壁用金具を壁に取り付ける場合は、市販のねじ（径 6mm）をご使用ください。

取り付け角度について

- LC-32GH5 に AN-37AG3 を取り付ける場合の角度は、0 度、5 度、10 度、15 度です。
- LC-26GH5 に AN-130AG1 を取り付ける場合の角度は、0 度、5 度、10 度、15 度です。スタンドカバーを取りはずすと 20 度まで傾けることができます。

1 **液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅となる位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける**

- 水平・垂直の角度や寸法は正確に測ってください。
- テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

2 **4 箇所の目印から対角線を引き、その交点（テレビのほぼ中心となる位置）に目印を付ける**

- 糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。

3 **この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける**

- 下記の寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。

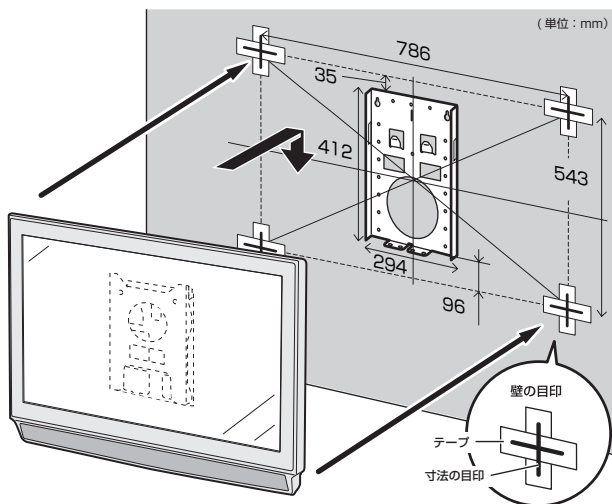
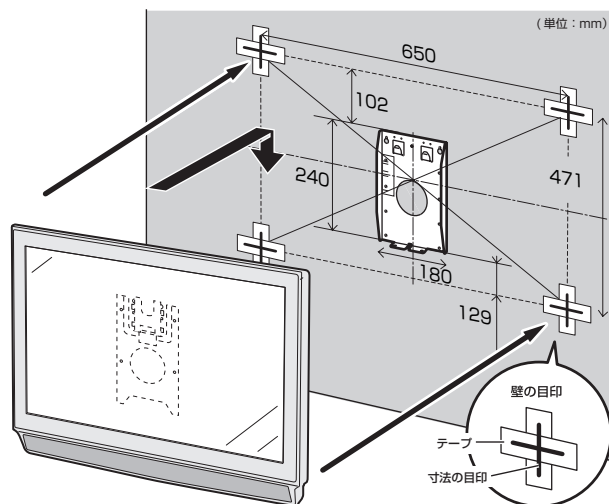
4 **スタンドを外し、接続ケーブル類を踏まないように壁掛け金具に取り付ける**

- 壁掛け金具の取扱説明書に従って、本機を固定してください。

5 **目印のテープ類を取り除く**

6 **本機につないでいる電源コードをコンセントにつなぐ**

- 録画機器などと接続するためのケーブルをつないでいるときは、そのケーブルを録画機器につなぐ

壁掛け金具 AN-37AG3 使用時

壁掛け金具 AN-130AG1 使用時

上記の方法はあくまで参考です。設置環境に合った方法で取付設置を行ってください。